



開成小学校放課後子ども教室開設に向けて

開成町は開成小学校の 1 室を利用して「開成小学校放課後子ども教室」を開設する予定です。この「放課後子ども教室」は平成 19 年 4 月に施行された「放課後子どもプラン推進事業」にかかわる事業です。この事業は文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」を合わせた事業です。

この事業で文部科学省は「**放課後子ども教室**」を厚生労働省は「**放課後児童クラブ**」をメインに推進しているところです。「放課後子ども教室」「放

(文部科学省のパンフレット表紙)

課後児童クラブ」の概略は、以下の通りです。

○「放課後児童クラブ」

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校等に通う子どもたちに、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業であり、女性の就労の増加や少子化が進行する中、仕事と子育ての両立支援、児童の健全育成対策を重要な目的とします。(学童保育と同じ)

○「放課後子ども教室」

子どもたちが放課後、学習や遊びをしたり、学年を超えて交流したりする『居場所』と『時間』を提供することにより、子どもたちの心豊かな創造性や協調性などの育成を目的とします。

地域の皆様の支援により、子どもたちの健全育成や創造性・協調性の育成を目指します。地域で子どもたちを育てていくという学校支援に期待をして、この事業の成功を祈りたいと思います。

開成町放課後子ども教室

- 給食のある水曜日に自分の教室から直接、「放課後子ども教室」に向かいます。
- 参加カードを出し、友だちと仲良く子ども教室、校庭、体育館などで学習をしたり、遊んだりして自主的な活動で時間を行います。
- お兄さんお姉さんや友達と過ごすなかで子どもたちの心豊かな創造性や協調性を育てます。
- 時間が来たら同じ方向のともだちと一緒に帰宅します。(前期は 5 時まで。後期は 4 時まで活動。)
- 活動の時間は、コーディネーター、学習・安全サポーター(地域の方々)により子どもの見守りがなされます。

山北町立川村小学校放課後子ども教室参観

開成小学校放課後子ども教室を 11 月 14 日にひかえ、コーディネーターの前田静行様に川村小学校の放課後子ども教室の参観に行きました。

開成町と同じように後期の予定でしたので、子どもたちは 16 時で活動を終り、帰宅する内容でした。登録が 100 人ほどでしたが、当日の参加は 50~60 人でした。開成町も同じようだろうかと考えながら、放課後子ども教室を考えていました。

開成南小学校支援ボランティアによるミシン指導支援

学習支援ボランティアによるミシン学習の支援がありました。

学校運営協議会委員長名で募集した学習支援ボランティアの中の5名の方に、10月の約1ヶ月間、無理の無い範囲で5・6年生の「ミシン学習」お支援をしていただきました。教員は、全体をみるためにグループを順に机間指導を実施しました。

学校公開「学校へ行こう週間」(「すこやか会議」もあわせて開催)

10月11日、12日は開成小学校、開成南小学校ともに学校公開日でした。保護者の皆様、地域の皆様、各種団体の皆様が児童の授業を参観されました。

また、この予定に合わせて両校ともすこやか会議(学校保健委員会)を実施いたしました。



開成南小学校はテーマを『元気いっぱい、「みなみっ子」大作戦』として「すこやか会議」を開催。食物にはいろいろな栄養がふくまれている、それぞれの大切な働きを理解し、自分に適した量、しかも栄養バランスのとれた食事を考えてみました。また、女子栄養大学の松下佳代准教授の食育(とくにお弁当のおかずやご飯のバランス・量)

に係る講演をお聞きして勉強をしました。

開成小学校は『健康な生活習慣』をテーマに、児童がアンケートでまとめた表をもとに睡眠の大切さ、ホルモンとの関係、睡眠の質、食事との関係など考えてみました。開成町保険健康課主幹 田中美津子 保健師のパワーポイントによる講話も大変わかりやすいものでした。

いずれの会議も保護者、学校運営協議会委員、民生委員、町関係機関の参加で成功裏にうちに終了しました。



コミュニティ・スクール情報

文部科学省から発信されているコミュニティ・スクール情報メールに「初等中等教育メールマガジン」があります。

今回は、鳥取県南部町立南部中学校のコミュニティ・スクールの取組が載せられていましたので紹介します。

- 戸数約1,000戸。2小学校を有する全校生徒105人の学校。
- 平成21年にコミュニティ・スクールに指定される。
- 「学習支援部」「地域交流部」「環境整備部」を設置し活動母体を組織。先生方の意識改革を図るため、教職員と協議会委員との交流会を設けた。
- 学校のめざす生徒増と協議会のねらいが「自律」「共生」で一致したことにより、あらゆる面で協議会と共通の視点で見直しに取り組んでいる。
- 全職員が協議会と同じ3部会に属し、委員と一緒に活動。
- 新しい取組「ふれあいデー」が誕生。自分で決めた場所に行き、社会貢献を行う、全校一斉のボランティア活動である。
- ほかに「先輩に学ぶ」「除草作業」「花植え」「防災訓練」など地域と一体になって実施。
- 校長は学校経営がしやすくなった。活動資金、小中連携など課題はある。
- 「地域から信頼される学校」から「地域から期待される学校」へ。